

歴史文化保護と

現代の共生
「京都エコ学習」

本紙では、一昨年より全国各地の環境学習ガイドをシリーズで紹介してきた

今日でも京都は修学旅行の旅行先として、毎年、全国各地から約百万人程度の児童生徒が訪れる、いわば修学旅行のメッカとして不動的地位を保っている。近年の修学旅行の傾向として、航空機利用、海外修学旅行、平和学習等が増大しており、それらの中で最大の関心事は「環境学習」であろう。

平安遷都千二百年の歴史を

……

隠口の泊瀬の山は色々な雨は降りに来し我を〔万葉集卷八〕にけらしも〔万葉集卷八〕近鉄桜井から朝倉・長谷寺にかけて、左右の山が次第に迫る。隠口とは泊(初)瀬の枕詞だが、周りが山々に囲まれた谷を意味する。王朝時代、長谷詣は京都から約七十二キロの道を、宇治・木津・奈良を経て椿市に達し、初瀬川沿いに長谷寺に向つたといふ。今は長谷寺駅から急な石段を下り、国道を過ぎ、初瀬川にかかる参急橋を渡る。天武天皇の病氣平癒を祈願して、飛鳥原寺の僧道明

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)により、礎石だけが残されたところ。〔源氏物語 玉臺〕

夕顔の娘玉臺が、觀音信仰によって母の侍女右近に会うという話は、謡曲に取り入れられ、その遺跡がある。千二百年前に、長谷寺は、東参道の定家塚・俊成碑の火災に遭っている。しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

大和路遍歴(33)
——長谷寺——

……

隠口の泊瀬の山は色々な雨は降りに来し我を〔万葉集卷八〕にけらしも〔万葉集卷八〕近鉄桜井から朝倉・長谷寺にかけて、左右の山が次第に迫る。隠口とは泊(初)瀬の枕詞だが、周りが山々に囲まれた谷を意味する。王朝時代、長谷詣は京都から約七十二キロの道を、宇治・木津・奈良を経て椿市に達し、初瀬川沿いに長谷寺に向つたといふ。今は長谷寺駅から急な石段を下り、国道を過ぎ、初瀬川にかかる参急橋を渡る。天武天皇の病氣平癒を祈願して、飛鳥原寺の僧道明

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ

り、礎石だけが残されたと

立札がある。千二百

年前に、長谷寺は十回も

火災に遭っている。

しかし、近く、「二本の杉」の処にあり、度毎に復興が早かつた。その度毎に復興が早かつたのは、人々の信仰の深さに

それまでだが、觀音信仰の添える。

開創だといふ。

西の岡には豊臣秀頼建立

の三重塔跡が残る。明治九年、祝融の災(火災)によ